

編集後記

『専修人間科学論集 社会学篇』第12巻第2号（社会学篇第12号）をお届けします。

論文4本、研究ノート4本の充実した構成となりました。執筆いただいた皆様にはお礼を申し上げます。また、専修大学出版局の相川さんにもたいへんお世話になりました。

本年度の編集業務は、主幹：鶴、サブ：樋口先生の2人で行ないました。昨年度は、主幹：菱山先生、サブ：鶴でした。昨年度は様々なことがありましたが、何とか乗り切り、今年度初めに菱山先生から年間スケジュール等の引き継ぎを受けたこと、また、樋口先生は専修大での職歴が長く経験豊富ということで、順調に編集を進めることができました。

来年度は、論集担当者が2名とも入れ替わることになります。この2年間を通して感じたことを2点、記しておきます。1点目は、諸規定をふまえた引き継ぎの重要性です。「菱山先生メモ」をもとに新しい担当者の先生方に引き継ぎを行ないたいと思います。

2点目は、私も含めた専任教員の投稿が少ないことです。後期になると様々な業務のピークが押し寄せてくることがその一因だとは思いますが、自戒を込めてまずは適切なスケジュール管理で投稿しようと思っています。

本論集が一層充実したものとなりますように、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(社会学篇編集委員会 鶴理恵子)